

# オーストラリアへの旅 (9)

花尾省治

オーストラリアの牧畜の発達には初代総督アーサー・フィリップによって家畜が初めてこの国に輸入されてからで、この国の歴史は牧畜によってはじめられている。今日オーストラリアが世界の畜産国である理由としては、

- (1) 気候風土が牧畜に適したことで、極めて広大な土地がありしかも大規模の放牧に適したこと
- (2) 地味が肥沃で優れた牧草が成育し、牧畜業の基礎ができており、特に乾燥した気候が綿羊飼育に適した。
- (3) この国に牧畜に危害を及ぼすような猛獣が住んでいなかったこと。
- (4) オーストラリアに移住した人達が英国人で永年

牧畜に深い理解と関心をもちこの道の経験の持主であったこと等による。移民した人の中に先覚者があり、よい優れた種畜を入れ情熱をかたむけひたすら新品種の造成或いは種畜の改良繁殖を行ったのである。

牧羊ではジョン・マッカーサーとかサミエル・マースデン。ヘンテイ一家の人達の如く、これ等先覚者によってオーストラリアの綿羊事業の基礎がかためられた。

羊は1947年には9,570万頭で漸次上昇し1955年1億3,000万頭の数字を示しており、乳牛は55年1954年より6万5,000頭増の(13%増)485万頭に達した。又肉牛は(54年)に比し55年は16万頭の増、豚7.7%増(54年より)と一般的に頭数は上昇の傾向を辿っている。

主な家畜数 (単位千頭)

	1939	1951	1952	1953	1954	1955	1939	1954
綿羊	111,058	115,596	117,646	123,072	126,944	130,133	%	2.5
乳牛	12,862	4,802	4,566	4,746	4,830	4,895	23.1	1.3
肉牛		10,426	10,327	10,510	10,771	10,932		1.5
豚	1,156	1,134	1,022	9,93	1,197	1,289	11.5	7.7

## 他の国との比較

### (1) 農場面積 (1950年)

アメリカ 4億6,900万ヘクタール  
 オーストラリア 3億7,500万ヘクタール  
 ブラジル 2億3,300万ヘクタール  
 日本 509万ヘクタール

### (2) 1農場の平均面積

オーストラリア 114ヘクタール  
 カナダ 96ヘクタール  
 アメリカ 77ヘクタール  
 日本 1ヘクタール

### (3) 大家畜と農場

1農場1頭にたりない国 日本  
 1~5頭 ベルギー フィリピン  
 70以上 オーストラリア  
 南ア連邦

牧羊はオーストラリアの最大の産業でその頭数は世界の6分の1、羊毛は世界の4分の1(世界の生産40億万ポンド)11億万ポンドを占めている。オーストラリアといえば羊、羊といえばオーストラリアといわれるのも羊毛が、この国の経済のバロメーターで第一の輸出品で世界最上位にあるからである。

羊の多く飼われているのはニューサウス・ウェールズで次で、ビクトリア、クインズランド等の順でニューサウス・ウェールズがその半を占めている。又「タスマニア島」には優秀メリノ種が飼われ(70~90番手)ている。

飼いは群をなし牧草を追って移動するブロック・ユウという飼ひ方、これは羊毛をとることを第一とし繁殖は第二としている。今一つは耕した土地に囲って飼ひ種羊をとるのが目的で飼われているものもある。種羊をとるものは登録羊である。羊の飼育も雨

### 岡山畜産便り1957.03

量に関係があり、良質で草生のよい牧草地では一定面積の飼育頭数が多いことになる。南オーストラリア、ポートリンカーン普及所の管轄では1頭の面積は普通2～3エーカー程度となっている。種類は種々な品種が飼われているがこの町の郊外ではサウスダウン、メリノ等が放牧されていた。

オーストラリアの羊の種類はメリノ種最も多く(70%)飼われているがその他にコリデール。ドーゼットホーン。ポルワース。ボーダーレスター。ロムニーマーシュ。レセスター等で気候、風土、地勢により特徴ある分布をしておる。羊毛年度は7月から始まり翌年6月に終る。羊毛買付シーズンは9月～6月で羊毛は主要都市であるシドニー、ブリスベン、メルボルン等で世界のバイヤーが集り競売される。日本では

兼松が先駆者として古くからシドニーに支店を置き貿易を行っている。昨年シドニー支店長としておられた藤原猛氏(取締役)は岡山県人で、戦後日本人として豪州一番乗りされた方で羊毛についてもその道のベテランである。

51-52年

羊毛生産高 10億700万重量ポンド

売上高 3億800万ポンド

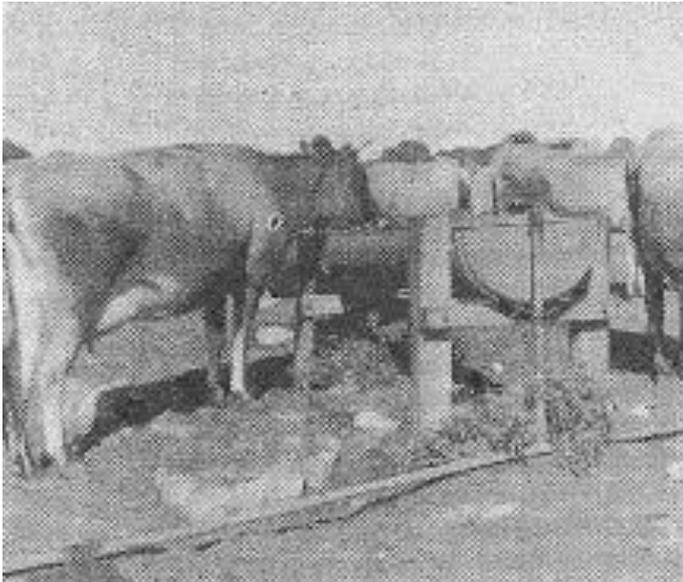
英国 127,697

米国 27,116

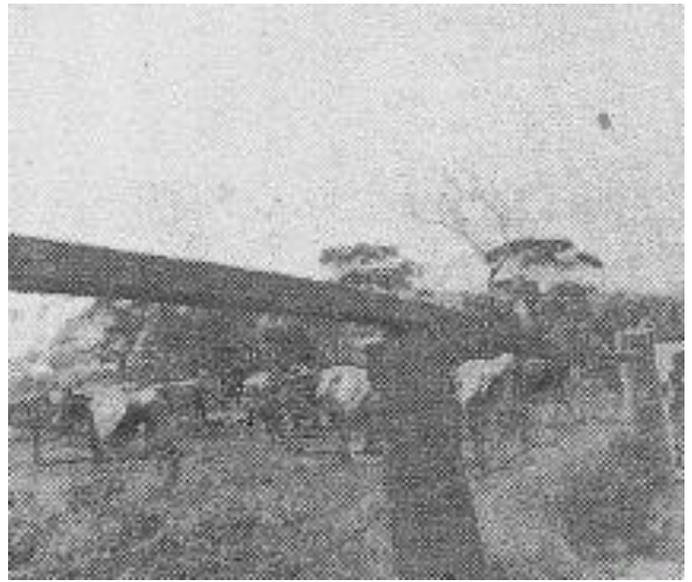
フランス 51,649 主要羊毛取引国 52～53年

日本 57,757

イタリア 35,235



放牧場の水飲場



牧場の柵